

○セレジスト錠 [内]

【重要度】★ 【一般製剤名】タルチレリン水和物 taltirelin hydrate 【分類】脊髄小脳変性症治療剤

【単位】〇5mg/錠

【常用量】1回5mg, 1日2回

【用法】1日2回朝・夕食後

【透析患者への投与方法】1回2.5mgを週3回透析後(逸見由紀子, 他: 透析会誌 36: S1040, 2003)

【その他の報告】尿中排泄率は低いが, 重度腎障害患者で血漿濃度が上昇した症例があるため慎重に投与(1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】尿中排泄率は低いが, 重度腎障害患者で血漿濃度が上昇した症例があるため慎重に投与(1) 重度の腎機能障害患者1名で血漿中濃度が約4.2倍上昇(1)

【特徴】脊髄小脳変性症に用いられる TRH 誘導体. TRH よりも安定で効力が100倍強く作用時間が8倍長く, TRH 受容体との親和性が10倍高い. 意識障害改善作用, 運動失調改善作用, 記憶障害改善作用, 運動障害改善作用がある.

【主な副作用・毒性】痙攣, 悪性症候群, 肝機能障害, 血圧低下, 意識消失, 嘔吐, よだれ, 水分摂取過多, 運動過多, ALT 上昇など

【吸収】吸収は食後投与で空腹時投与に比べ Cmax で77%, AUC で75%に低下する(1)

【F】9% [ラット], 19.4% [イヌ](1)

【tmax】約3hr(1) 【Cmax】透析患者では Cmax が健常者の7倍に上昇(逸見由紀子, 他: 透析会誌 36: S1040, 2003)

【代謝】プロリンアミドから脱アミノしたアシド体が認められる(1)

【排泄】尿中排泄率はプロリンアミド, 脱アミノしたアシド体ともに投与量の1~2%(1)

【t1/2】健康成人 2.29hr(1) 【透析患者の t1/2】30.67hr(逸見由紀子, 他: 透析会誌 36: S1040, 2003)

【蛋白結合率】結合しない(1)

【Vd】単回投与成績より, F10%と仮定すると 120L/man 程度か(5) 【分布】脳内に移行する(ラット)(1)

【MW】477.47

【透析性】透析により血漿濃度は86%低下する(逸見由紀子, 他: 透析会誌 36: S1040, 2003) が, Vd がやや大きいと思われるため効率的には除去できない可能性がある(5)

【更新日】20200401

※正確な情報を掲載するように努力していますが, その正確性, 完全性, 適切性についていかなる責任も負わず, いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし, それらを利用した結果, 直接または間接的に生じた一切の問題について, 当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は, 日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。